

Genius English Logic and Expression III   〈2 単位〉

年間指導計画案（シラバス）＋Can-Do＋観点別評価規準例

1. 学習の到達度目標等

学習到達度目標	1. コミュニケーションを支えるものとしての文法の形式・意味・機能に習熟し，必要な場面で適切な文法形式を用いて正しく表現することができる。 2. 日常的な話題や社会的な話題について，支援をほとんど活用しなくても，多様な語句や文を用いて，情報や考えなどを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝え合うことができる。 3. 日常的な話題や社会的な話題について，支援をほとんど活用しなくても，複数の資料を活用しながら，多様な語句や文を用いて，情報や考えなどを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝えることができる。 4. 日常的な話題や社会的な話題について，支援をほとんど活用しなくても，複数の資料を活用しながら，多様な語句や文を用いて，情報や考えなどを論理の展開や構成を工夫しながら複数の段落から成る文章で詳しく書いて伝えることができる。
使用教科書・副教材等	教科書『Genius English Logic and Expression III』 副教材『ライティング・ノート』（冊子／データ） その他「活動用教科書ワークシート」「評価問題」（データ）

2. 評価の観点および内容（領域別）

学習状況は，以下の「知識・技能」，「思考力・判断力・表現力」，「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から評価します。

各 Unit では，主として，〈話すこと[やり取り]〉〈話すこと[発表]〉〈書くこと〉の3領域のうち，1つの領域に焦点を当てた言語活動にもとづいて評価を行います。

観点	内容	
①知識・技能	話すこと [やり取り]	[知識] 対話の展開のしかたや論理構成について理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて，支援をほとんど活用しなくても，日常的な話題や社会的な話題について，複数の資料を活用しながら，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合う，また，意見や主張などを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝え合う技能を身につけている。
	話すこと [発表]	[知識] 話の展開のしかたや論理構成について理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて，支援をほとんど活用しなくても，日常的な話題や社会的な話題などについて，複数の資料を活用しながら，多様な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝える，また，意見や主張などを論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝える技能を身につけている。
	書くこと	[知識] パラグラフの展開のしかたや論理構成について理解している。 [技能] 実際のコミュニケーションにおいて，支援をほとんど活用しなくても，日常的な話題や社会的な話題について，複数の資料を活用しながら，多様な語句や文を用

		いて、情報や考え、気持ちなどを書いて伝える、また、意見や主張などを、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく書いて伝える技能を身につけている。
②思考力・判断力・表現力	話すこと [やり取り]	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝え合っている。
	話すこと [発表]	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝えている。
	書くこと	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく書いて伝えている。
③主体的に学習に取り組む態度	話すこと [やり取り]	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝え合おうとしている。また、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・話し手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話して伝え合おうとしている。
	話すこと [発表]	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく話して伝えようとしている。また、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手に配慮しながら、主体的に英語を用いて話して伝えようとしている。
	書くこと	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、支援をほとんど活用しなくても、日常的な話題や社会的な話題について、情報や考え、気持ちなどを、複数の資料を活用しながら、多様な語句や文を用いて、論理の展開や構成を工夫しながら詳しく書いて伝えようとしている。また、外国語の背景にある文化に対する理解を深め、読み手に配慮しながら、主体的に英語を用いて書いて伝えようとしている。

### 3. 評価の方法

上記2の3つの観点について、以下のa-dの方法を適宜組み合わせて評価します。

a	授業中のペアワークやグループワークへの参加状況
b	各Unitの最後にある言語活動への取り組み状況（話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと）
c	小テスト、パフォーマンステスト（話すこと[やり取り]、話すこと[発表]、書くこと）
d	定期考査（中間考査・期末考査）

4. 年間指導計画案（シラバス）／Can-Do／観点別評価規準例

※配当時間の目安は1Unitにつき3時間～4時間

タイトル	Can-Do  〈領域〉	題材・提示資料・言語活動	観点別評価規準例		
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
第 1 学期					
Unit 1  Should People Have Pets?	ペットを飼うべきか否かについて意見を述べるができる。  〈書くこと〉	[題材] 子どもがペットを飼うことの是非について、エッセイを書く [提示資料] ネットに投稿された記事／動物・ペットについてのアンケートランキング [言語活動] 1. ペットに関する質問に答える。（Warm-up） 2. ペットを飼うことの是非に関連した複数の資料を読み込む。（Get Ready） 3. 提示資料を正しく読めているかを確認する。（Check It Out） 4. ペットを飼うことの是非について、意見（opinion）を支持する事実（fact）を選択する。（Figure It Out） 5. ペットを飼うことの是非に関するさまざまな意見を聞く。（Take It Further） 6. 国際エッセイコンテストに向けて「子どもにペットを買う/飼うべきか」というトピックでエッセイを書く。（Try It Out）	エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。  国際エッセイコンテストに向けて、子どもがペットを飼うことの是非について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。	国際エッセイコンテストに向けて、子どもがペットを飼うことの是非について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書いている。	国際エッセイコンテストに向けて、子どもがペットを飼うことの是非について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書こうとしている。
Unit 2  Printed Books or E-Books?	紙の書籍と電子書籍のどちらが良いかについて意見を述べるができる。  〈書くこと〉	[題材] 紙の書籍と電子書籍を比較するエッセイを書く [提示資料] 目的別に適した方はどちらか：紙の書籍と電子書籍／紙の本と電子書籍、どちらが読みやすいか／紙の書籍と電子書籍の利用に関する調査結果（オンラインの記事） [言語活動] 1. 本を読むことに関する質問に答える。（Warm-up） 2. 紙の書籍と電子書籍を比較した複数の資料を読み込む。（Get Ready） 3. 提示資料を正しく読めているかを確認する。（Check It Out） 4. 紙の書籍と電子書籍の比較について、事実（fact）と意見（opinion）を結びつける。（Figure It Out） 5. 紙の書籍と電子書籍を比較する雑誌の記事を読み、それぞれに対する賛成／反対意見を整理する。（Take It Further） 6. 地元の新聞への投稿として「紙の書籍か電子書籍か？」というタイトルでエッセイを書く。（Try It Out）	エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。  地元の新聞への投稿として、紙の書籍と電子書籍を比較するエッセイを、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。	地元の新聞への投稿として、紙の書籍と電子書籍を比較するエッセイを、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書いている。	地元の新聞への投稿として、紙の書籍と電子書籍を比較するエッセイを、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書こうとしている。

Unit 3	Which Media Provides the Most Trustworthy Information?	最も信頼できるメディアは何かについて議論することができる。  〈話すこと[やり取り]〉	[題材] 最も信頼できるメディアは何かについてディスカッションする [提示資料] 年代別信頼できるメディア調査／「フェイクニュース」に関するアンケート [言語活動] 1. SNS からの情報に関する質問に答える。（Warm-up） 2. 信頼できるメディアについて調査した複数の資料を読み込む。（Get Ready） 3. 提示資料を正しく読めているかを確認する。（Check It Out） 4. メディアの情報に対する意見（opinion）を読んで、それを支持する事実（fact）を選択する。（Figure It Out） 5. どのメディアが最も信頼できるかに関するさまざまな意見を聞く。（Take It Further） 6. 「どのメディアが最も信頼できる情報を提供しているか？」というトピックでグループ・ディスカッションを行う。（Try It Out）	グループ・ディスカッションの流れについて理解している。  最も信頼できるメディアは何かについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参照しながら、論理の展開や構成を工夫して話し合って伝える技能を身につけている。	最も信頼できるメディアは何かについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理的にグループ・ディスカッションを行っている。	最も信頼できるメディアは何かについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理的にグループ・ディスカッションを行うおうとしている。
Unit 4	Which Language Is the Best to Learn?	どの言語を学ぶべきかについて意見を述べることができる。  〈書くこと〉	[題材] どの外国語を学ぶと良いかについて、エッセイを書く [提示資料] 最も話されている言語トップ10／外国語学習に関するアンケート調査／語学スクールに通う目的 [言語活動] 1. 英語学習に関する質問に答える。（Warm-up） 2. 外国語を学ぶ動機に関連した複数の資料を読み込む。（Get Ready） 3. 提示資料を正しく読めているかを確認する。（Check It Out） 4. どの外国語を学ぶべきかに関する意見（opinion）を、資料から読み取れる事実（fact）と組み合わせる。（Figure It Out） 5. 新しい言語を学ぶべき5つの理由を読んで、それぞれの理由に小見出しをつける。（Take It Further） 6. 「どの言語を学ぶのが一番良いか？」というトピックでエッセイを書く。（Try It Out）	エッセイを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。  どの言語を学ぶべきかについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。	どの言語を学ぶべきかについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書いている。	どの言語を学ぶべきかについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150語以上、あるいは3つ以上のパラグラフで書こうとしている。
1 学期の評価方法						
課題		1 与えられたトピックに関連する表現や論理構成を学ぶ 2 Unit 1～Unit 4 の言語活動を行う				
提出物		1 Unit 1～Unit 4 の活動用教科書ワークシート				
評価対象		a 授業中のペアワーク、グループワークなどへの参加状況 b 活動用教科書ワークシートの提出状況とその内容 c 小テストの成績、パフォーマンステストへの取り組み状況 d 中間考査および期末考査				

第 2 学期

Unit 5  What Abilities Will Be Needed in a Society with Highly Advanced AI?	AI 時代に求められる能力について意見を述べるができる。  〈話すこと[発表]〉	[題材] AI 時代に求められる能力や AI の有効活用について述べる [提示資料] 体が不自由な人でもロボットを通じて遠隔で接客係として働くことができることを紹介したビデオ／AI 時代に企業が求める人材スキル [言語活動] 1. 接客係として働くロボットの写真について述べる。（Warm-up） 2. AI と仕事に関する複数の資料を読み込む。（Get Ready） 3. 提示資料を正しく読めているかを確認する。（Check It Out） 4. 提示資料に関するコメントについて、意見（opinion）と事実（fact）を区別する。（Figure It Out） 5. AI 時代に求められる能力についてさまざまな意見を聞く。（Take It Further） 6. 進化した AI についてのスピーチを行う。（Try It Out）	論理的なスピーチの展開方法について理解している。  AI 時代に求められる能力や AI の有効活用について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参照しながら、論理の展開や構成を工夫して話して伝える技能を身につけている。	AI 時代に求められる能力や AI の有効活用について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例を交えて、聴衆に伝わるようにスピーチしている。	AI 時代に求められる能力や AI の有効活用について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例を交えて、聴衆に伝わるようにスピーチしようとしている。
Unit 6  How Can Gender Equality Be Realized?	どうすればジェンダー平等を実現できるかについて意見を述べるができる。  〈書くこと〉	[題材] ジェンダー平等についての記事を書く [提示資料] ジェンダーの平等を訴える意見／男女共同参画社会に関する世論調査 [言語活動] 1. ジェンダー平等についての質問に答える。（Warm-up） 2. ジェンダー平等に関する複数の資料を読み込む。（Get Ready） 3. 提示資料を正しく読めているかを確認する。（Check It Out） 4. 提示資料に関するコメントについて、意見（opinion）と事実（fact）を区別する。（Figure It Out） 5. ジェンダー平等についてのさまざまな意見を聞く。（Take It Further） 6. ジェンダー平等についての意見を記事にして書く。（Try It Out）	記事を書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。  ジェンダー平等について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。	ジェンダー平等について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して 150 語以上、あるいは 3 つ以上のパラグラフで書いている。	ジェンダー平等について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して 150 語以上、あるいは 3 つ以上のパラグラフで書こうとしている。
Unit 7  Should All Public Spaces Have Security Cameras?	公共の場における防犯カメラ設置の是非について討論することができる。  〈話すこと[やり取り]〉	[題材] すべての公共の場に防犯カメラを設置すべきかについて討論する [提示資料] 防犯カメラ設置台数と犯罪指数／防犯カメラ設置と犯罪の関係／防犯カメラが与える心理的影響（プラス面とマイナス面） [言語活動] 1. 防犯カメラについての質問に答える。（Warm-up） 2. 防犯カメラ設置と犯罪に関する複数の資料を読み込む。（Get Ready） 3. 提示資料を正しく読めているかを確認する。（Check It Out） 4. 自転車を盗まれたという事例についての意見（opinion）を読んで、それを裏付ける提示資料を選択する。（Figure It Out） 5. 防犯カメラに関して賛成／反対の意見にそれぞれ小見出しをつける。（Take It Further） 6. 「すべての公共の場に防犯カメラを設置するべきである」という命題でディベートを行う。（Try It Out）	ディベートの流れについて理解している。  公共の場における防犯カメラ設置の是非について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して話し合って伝える技能を身につけている。	公共の場における防犯カメラ設置の是非について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例や説明を交えて、ディベートを行っている。	公共の場における防犯カメラ設置の是非について、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例や説明を交えて、ディベートを行おうとしている。

<div>Unit 8</div> <div>Will Human Life Expectancy Increase?</div>	<div>人間の寿命は将来どうなるかについて意見を述べることができる。</div> <div>〈書くこと〉</div>	<div>[題材] 将来、平均寿命が延びるかどうかについて、レポートを書く</div> <div>[提示資料] 日本人の平均寿命／世界の地域別平均寿命</div> <div>[言語活動]</div> <div>1. 「100 歳まで生きたいか？」という質問に答える。（Warm-up）</div> <div>2. 平均寿命に関する複数の資料を読み込む。（Get Ready）</div> <div>3. 提示資料を正しく読めているかを確認する。（Check It Out）</div> <div>4. 提示資料についての意見（opinion）と、それを裏付ける事実（fact）を結びつける。（Figure It Out）</div> <div>5. 平均寿命についてのさまざまな意見を聞く。（Take It Further）</div> <div>6. 「世界中で寿命は現在よりも延びると思うか？」というトピックでレポートを書く。（Try It Out）</div>	<div>レポートを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。</div> <div>将来、平均寿命が延びるかどうかについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</div>	<div>将来、平均寿命が延びるかどうかについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して 150 語以上、あるいは 3 つ以上のパラグラフで書いている。</div>	<div>将来、平均寿命が延びるかどうかについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して 150 語以上、あるいは 3 つ以上のパラグラフで書こうとしている。</div>
<div>Unit 9</div> <div>What Kind of Company Would You Start?</div>	<div>起こしたい事業についてプレゼンテーションすることができる。</div> <div>〈話すこと[発表]〉</div>	<div>[題材] 高校生の困りごとを解決する事業を提案する</div> <div>[提示資料] 高校生起業家に関するネットの記事／新規開業したビジネスの種類</div> <div>[言語活動]</div> <div>1. 学生のうちに起業したいかどうかという質問に答える。（Warm-up）</div> <div>2. 新規開業に関する複数の資料を読み込む。（Get Ready）</div> <div>3. 提示資料を正しく読めているかを確認する。（Check It Out）</div> <div>4. 提示資料についての意見（opinion）と、それを裏付ける事実（fact）を結びつける。（Figure It Out）</div> <div>5. 新しいビジネスについてのプレゼンテーションを聞く。（Take It Further）</div> <div>6. 高校生の困りごとを解決する新規ビジネスモデルについて、グループでプレゼンテーションを行う。（Try It Out）</div>	<div>効果的なプレゼンテーションの展開方法について理解している。</div> <div>高校生の困りごとを解決する新規ビジネスモデルについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参照しながら、論理の展開や構成を工夫して話して伝える技能を身につけている。</div>	<div>高校生の困りごとを解決する新規ビジネスモデルについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例を交えて、視覚資料も活用しながら、聴衆に伝わるようにグループでプレゼンテーションをしている。</div>	<div>高校生の困りごとを解決する新規ビジネスモデルについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例を交えて、視覚資料も活用しながら、聴衆に伝わるようにグループでプレゼンテーションをしようとしている。</div>
第 2 学期の評価方法					
課題	1 与えられたトピックに関連する表現や論理構成を学ぶ 2 Unit 5～Unit 8 の言語活動を行う				
提出物	1 Unit 5～Unit 8 の活動用教科書ワークシート				
評価対象	a 授業中のペアワーク、グループワークなどへの参加状況 b 活動用教科書ワークシートの提出状況とその内容 c 小テストの成績、パフォーマンステストへの取り組み状況 d 中間考査および期末考査				

第 3 学期					
Unit 10  Better Designs for a Better Life	生活をより良くするユニバーサルデザインについての考えを述べること  〈書くこと〉	<p>[題材] ユニバーサルデザインについてのレポートを書く</p> <p>[提示資料] ユニバーサルデザインに関する経験談／日本の全人口に占める高齢者の割合／ユニバーサルデザインに関する意識調査</p> <p>[言語活動]</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 写真について良いと思われる点を述べる。(Warm-up)</li><li>2. ユニバーサルデザインに関する複数の資料を読み込む。(Get Ready)</li><li>3. 提示資料を正しく読めているかを確認する。(Check It Out)</li><li>4. 提示資料についての意見 (opinion) と、それを裏付ける事実 (fact) を結びつける。(Figure It Out)</li><li>5. ユニバーサルデザインについてのさまざまな意見を聞く。(Take It Further)</li><li>6. ユニバーサルデザインについて、「すでに実用化されているもの」または「まだこの世に存在していないもの」のどちらかについてレポートを書く。(Try It Out)</li></ol>	<p>レポートを書く上で必要な構成やパラグラフの展開について理解している。</p> <p>ユニバーサルデザインについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参考にしながら、論理の展開や構成を工夫して書いて伝える技能を身につけている。</p>	ユニバーサルデザインについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150 語以上、あるいは3 つ以上のパラグラフで書いている。	ユニバーサルデザインについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく理由や具体例を交えて、論理の展開や構成を工夫して150 語以上、あるいは3 つ以上のパラグラフで書こうとしている。
Unit 11  What Should Be Done to Protect the Earth?	地球環境を守るための提言をすることができる。  〈話すこと[発表]〉	<p>[題材] 地球環境を守るためにすべきことや日本に広めたい取り組みについて述べる</p> <p>[提示資料] 世界の平均気温偏差／世界の年降水量偏差／年平均海面水温の長期変化傾向／種類別・年代別自然災害発生数／地域別化石燃料由来の CO<sub>2</sub> 排出量</p> <p>[言語活動]</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1. 季節と気候変動に関する質問に答える。(Warm-up)</li><li>2. 気候変動に関する複数の資料を読み込む。(Get Ready)</li><li>3. 提示資料を正しく読めているかを確認する。(Check It Out)</li><li>4. 提示資料についてのコメントを読み、意見 (opinion) と、事実 (fact) を区別する。(Figure It Out)</li><li>5. 地球環境を守るためにできることについてのさまざまな意見を聞く。(Take It Further)</li><li>6. 地球環境を守るために実践するべきこと、または日本に広めたい取り組みについて、プレゼンテーションを行う。(Try It Out)</li></ol>	<p>効果的なプレゼンテーションの展開方法について理解している。</p> <p>地球環境を守るためにすべきことや日本に広めたい取り組みについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料を参照しながら、論理の展開や構成を工夫して話して伝える技能を身につけている。</p>	地球環境を守るためにすべきことや日本に広めたい取り組みについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例を交えて、視覚資料も活用しながら、聴衆に伝わるようにプレゼンテーションをしている。	地球環境を守るためにすべきことや日本に広めたい取り組みについて、これまでに学んだ表現を用い、複数の資料に基づく具体例を交えて、視覚資料も活用しながら、聴衆に伝わるようにプレゼンテーションをしようとしている。

Unit 12	ショート・ストーリーをつくることができる。	<p>〔題材〕 子どもを喜ばせるショート・ストーリーを書く</p> <p>〔提示資料〕 ショート・ストーリーの例／ショート・ストーリーの盛り上がりの構成</p> <p>〔言語活動〕</p> <ol style="list-style-type: none"><li>子ども向けの物語に関する質問に答える。（Warm-up）</li><li>ショート・ストーリー作成の際に参考となる複数の資料を読み込む。（Get Ready）</li><li>提示資料を正しく読めているかを確認する。（Check It Out）</li><li>ショート・ストーリーを書くための4つのステップについて書かれた文を読み、情報を整理する。（Figure It Out）</li><li>パラグラフでばらばらになったショート・ストーリーを話の流れに沿って順番に並べ替える。（Take It Further）</li><li>「日本の昔話」「歴史フィクション」「イソップ物語」「サイエンス・フィクション」「ファンタジー」などの中から1つ選び、ショート・ストーリーを書く。（Try It Out）</li></ol>	ショート・ストーリーを書く上で必要な構成や話の展開のさせ方について理解している。	これまでに学んだ表現を用い、話の展開や構成を工夫して子どもを喜ばせるショート・ストーリーを3つ以上のパラグラフで書いている。	これまでに学んだ表現を用い、話の展開や構成を工夫して子どもを喜ばせるショート・ストーリーを3つ以上のパラグラフで書こうとしている。
第3学期の評価方法					
課題	<ol style="list-style-type: none"><li>与えられたトピックに関連する表現や論理構成を学ぶ</li><li>Unit 10～Unit 12 の言語活動を行う</li></ol>				
提出物	<ol style="list-style-type: none"><li>Unit 10～Unit 12 の活動用教科書ワークシート</li></ol>				
評価対象	<ol style="list-style-type: none"><li>授業中のペアワーク，グループワークなどへの参加状況</li><li>活動用教科書ワークシートの提出状況とその内容</li><li>小テストの成績，パフォーマンステストへの取り組み状況</li><li>中間考査および期末考査</li></ol>				